

# SALON

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール情報誌 Vol.158 2025年 10月号

## THE PHOENIX HALL

### CONTENTS

- 01 Prime Interview **中村恵理**
- 03 Phoenix Presents **中村恵理 ソプラノリサイタル**  
「音景と解像度」山田唯雄×黒崎拓海  
ギター&ピアノ デュオ・リサイタル
- 05 Pick Up **開館30周年お祝いメッセージ**  
音楽クリティック・クラブ賞奨励賞 受賞
- 07 Essay **エリック・サティとは何者か** 椎名亮輔



# Eri Nakamura



## Prime Interview 中村恵理

世界の歌劇場で活躍するソプラノ、中村恵理がリサイタルを行う。中村恵理は兵庫県川西市出身。大阪音楽大学大学院、新国立劇場オペラ研修所を経て2008年、英国ロイヤルオペラにデビューを果たし、翌09年にはベッリーニの『カプレーティとモンテッキ』でアンナ・ネトレブコの代役を務めて脚光を浴びた。2010年から6年間はバイエルン国立歌劇場専属歌手として数々の主要キャストを務め、現在、各国のオペラハウスに出演を重ねている。関西においても2017年、兵庫県立芸術文化センターの『フィガロの結婚』（指揮：佐渡裕）、2022年、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団との『プーランク賛』（指揮：佐藤正浩）などで記憶に残る歌唱を聴かせている。インタビューは彼女が拠点とするミュンヘンとオンラインで行われた。しなやかに言葉を紡ぐ歌姫の表情と、時折見せる関西育ちらしい茶目っ気と。1時間弱のインタビューはリサイタルへの期待を感じさせる心地よいひと時となった。（逢坂聖也 音楽ライター）

## 「トロンボーンの実習、がんばってね」 あの頃の自分にはその声をかけてあげたい。

おはようございます。そちらは朝9時とお聞きしています。早い時間からありがとうございます。早速、来年のリサイタルのお話をうかがっていきたいのですが、中村さんはザ・フェニックスホールでのリサイタルは初めてですね？

こちらこそ、ありがとうございます。ザ・フェニックスホールはもちろんですが、大阪でのリサイタルも初めてです。これまで関東や北海道では何回か歌っていて、関西では私の地元、川西市でリサイタルの機会をいただいたりしたのですが、大阪は初めて。なので少しドキドキしています。

### どんな内容のリサイタルになるのでしょうか？

1つにはこれまで私がどんな歌を歌ってきたか、ということをお客さまにお伝えできるようリサイタルにしたいと考えています。もう1つは、私が今、課題にしている作品や学び直している作品を歌いたいということ。自分自身の勉強も兼ねて、という堅苦しいのですが、私は普段はオペラを歌っているためリサイタルは自分で曲を選べる数少ない機会でもあるんです。そういった歌をこんな素敵な曲もありますよ、という形でお客さまに紹介したいと思っています。3月のコンサートですから、全体としては春らしい緑を感じるような作品を意識して選曲しました。

前半はバロック時代から20世紀初めまでの作品が並んでいて、日本歌曲からも3曲。特に信時潔の『占うと』が目玉です。とても深い感情を歌った作品ですね。

好きなんです。日本歌曲の中では珍しい、女性の情念がこもった曲ですね。学生の時に習った作品なんです、ノートに書き込みがびっしり。だけど当時は頭では理解はできて、も表現に結びつかない。大阪で勉強した曲ですし、今なら歌えるのではという気持ちで選びました。このあとレスピーギの『霧』を歌うんですが、この2曲がすごく内面に秘めた感情を歌っていて、前半の明るい雰囲気とコントラストを加えていると思います。

後半はほとんどがこれまで歌ってこられたオペラからの作品ですね。



©Markus Cæder  
2023年スウェーデン王立歌劇場「蝶々夫人」

『カルメン』だけがこれからです。私はヨーロッパではフラスキータ役を10年以上やっていたんですが、来年2月に、群馬（高崎芸術劇場）で初めてミカエラを歌うので、今、まさに楽譜を読んでるところです。初めての役を大阪でもお披露目できればと思い選びました。ほかには歌っていますけど、ジュリエットは若い頃に歌っているのでずいぶん久しぶりになります。きっと新鮮な気持ちで歌えると思います。

### オペラ歌手としてステージに立つのとリサイタルで歌うのでは、やはり違いますか？

オペラで歌う時というのは、私はその団体の中の一員なわけです。たとえ主役であったとしてもチームの一員なので、オーケストラや共演してくださる皆さん、指揮者、演出家、そのほかのスタッフと「みんなで一緒に！」という気持ちになれるんです。でもリサイタルになると基本的に歌手は私ひとりお客さまと向き合わないといけないので、私の声がちゃんとお客さまを惹きつけているか、とか、そもそも私のリサイタルに来ていただけるのか、とか、改めて聞かれるとそういった難しさはありますね。でも本番で歌う時は、もうそのことは考えないと思います。その場になったら、そこですべての100パーセント、120パーセントのことをさせていただけなので。

### 中村さんがご自身の“声”に気づいたのはいつ頃だったんですか？自分は歌えると思ったのは。

「歌える」なんて思っていないです。こんなことを言うとは「プロらしくない」って叱られるかも知れないけれど、今でもそんな風には思いません。批評でも私の声は、ゴールデンヴォイスとは言われないんです。シルバーヴォイスっ

て言われるので、私にはそれほどの“声”はないんだって思ってるんですね。でも、だからやめられないんです。私の声にもできることがあるはずだって。素晴らしく歌っている方の歌の中には、本当に輝くような、宝石のような瞬間があるでしょう？目には見えないけど心が動くような瞬間が。だからあきらめられないんですね。自分の声でもそれができるんじゃないかって。

きっとできる、というよりも世界で活躍するディーバの中村さんにこれまでそんな瞬間がなかったとはとても思えないんです。

私はディーバじゃないですよ。そう見るとしたら、それは「役」が私をそう見せてくれているんです。

### 大阪で音楽を勉強していた頃の中村さんはどんな学生だったんですか？

すごく地味な学生でした。よもや中村恵理がオペラ歌手になろうとは誰も思っていなかったと思います。私自身思っていませんでしたし、友達もきっと先生も。私は中学、高校の頃、ずっと吹奏楽部に入っていて、中学ではトロンボーン、高校ではコントラバスを担当していました。当時の私の夢は、音楽の先生になって吹奏楽部の顧問になることでした。

### もし、その頃の当時の自分自身に会ったらどんな言葉をかけてあげたいですか？

「トロンボーンの実習がんばってね」かな。あの頃、勉強していたことが今、歌うことにすごく役立っています。声楽にはプレス（呼吸）は特に大事。だから当時の自分には「トロンボーンやってくれてありがとう」という気持ちですね。



©Julian Guidera  
2025年ドーセット・オペラ・フェスティバル「修道女アンジェリカ」

中村恵理（なかむら・えり/ソプラノ）  
2008年英国ロイヤルオペラにデビュー。2010年から6年間にわたりバイエルン国立歌劇場の専属歌手として『魔笛』パミーナ、『トゥーランドット』リユーなど主要キャストを務める。また英国ロイヤルオペラ、ウィーン国立歌劇場、ワシントン・ナショナル・オペラ、ベルリン・ドイツ・オペラ、イングリッシュ・ナショナル・オペラなどに客演多数。日本国内では、びわ湖ホール（つばめ）『マダマ・ブタ、新国立劇場（椿姫）』ヴィオレッタなどで出演。24年には英国「Opera Rara」の新制作録音『シモン・ボッカネグラ』アメリアでロール・デビューを果たした。2025年はカナディアン・オペラ・カンパニー『蝶々夫人』蝶々さん、日本フィル『仮面舞踏会』アメリア等に出演、いずれも絶賛された。今後はN響、大阪フィルおよび札幌（第九）、群馬（カルメン）ミカエラ、新国立劇場『リコロレット』シルダ、オペラ・コロド『蝶々夫人』等に出演を予定している。東京音楽大学特任教授、大阪音楽大学客員教授。

今後の出演公演  
注目アーティストシリーズ84 中村恵理 ソプラノリサイタル  
2026年3月5日（木）19:00開演 指定席  
一般4,500円 友の会会員4,050円 学生（25歳以下）1,500円  
■出演 中村恵理（ソプラノ）、木下志寿子（ピアノ）  
■曲目 A. スカルラッティ：すみれ 信時潔：占うと  
ティリンデッリ：おお、春よ レスピーギ：霧  
グノー：歌劇『ロメオとジュリエット』より「私は夢に生きたい」  
ブッチーニ：歌劇『ラ・ボエーム』より「あなたの愛の呼び声」ほか  
＜チケットのお求め、お問い合わせ＞  
ザ・フェニックスホールチケットセンター 06-6363-7999（平日10:00～17:00、土日祝休）

2026

3/5木

注目アーティストシリーズ84

中村恵理 ソプラノリサイタル

友の会先行予約日 2025 10/18± 10:00~

\*10/23木までは、会員お一人様2枚まで。

一般発売日 2025 10/24金 10:00~

\*インターネット予約は、10/27(月)10:00~

19:00開演 指定席

一般 ¥4,500(友の会会員¥4,050) 学生(25歳以下) ¥1,500



世界が認めた歌姫が放つ、ソプラノの魅力

■出演 中村恵理(ソプラノ)、木下志寿子(ピアノ)

■曲目 スカルラッティ:すみれ  
信時潔:占うと  
ティリンデッリ:おお、春よ  
プッチーニ:歌劇『ラ・ボエーム』より  
“あなたの愛の呼ぶ声に” ほか

バイエルン国立歌劇場の専属歌手として活躍し、世界の一流オペラハウスでも注目を集めているソプラノ歌手・中村恵理さんが、いよいよザ・フェニックスホールに初登場! 今回のプログラムでは、イタリア歌曲やオペラ・アリアの名曲を中心にお届けします。共演は、中村さんが全幅の信頼を寄せるピアニスト・木下志寿子さん。二人の息の合った演奏で生まれる音楽の世界にご期待ください。

豊かな声量と磨き上げられた表現力 — 美しい歌声に酔いしれる、特別な夜をどうぞお聴き逃しなく!

フェニックス・エヴォリューション・シリーズ113

2026

2/17火

「音景と解像度」山田唯雄×黒崎拓海  
ギター&ピアノ デュオ・リサイタル

友の会先行予約日 2025 10/18± 10:00~

\*10/23木までは、会員お一人様2枚まで。

一般発売日 2025 10/24金 10:00~

\*インターネット予約は、10/27(月)10:00~

19:00開演 自由席

一般前売 3,000円(友の会会員2,700円) 一般当日 3,500円(友の会会員3,150円)  
学生(25歳以下)前売 2,000円 学生(25歳以下)当日 2,500円



©Ayane Shindo



©Guido Werner-4

共通のモチーフを通して聴く、それぞれの魅力。  
ギターとピアノ 異なる解像度を持つ楽器たち

■出演 山田唯雄(ギター)、黒崎拓海(ピアノ)

■曲目 J.N.フンメル&M.ジュリアーニ:  
ギターとピアノのためのグラン・ポプリ op.79/93  
G.レゴンディ:「ドン・ジョバンニ」による幻想曲  
F.リスト=G.ヴェルディ:  
リゴレット・パラフレーズ S.434  
M.C-テデスコ:組曲 作品133  
C.ドビュッシー:映像 第2集  
H.ハウグ:ギターとピアノのためのファンタジー

2026年度フェニックス・エヴォリューション・シリーズ審査結果のお知らせ

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールは、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が芸術文化支援活動の拠点として設置、運営している音楽ホールです。優れたアーティストによる自主企画公演を開催する一方で、発表の機会を求めておられるアーティストの方々に呼び掛け、個性溢れる公演にこのホールをご活用いただくことも重要な事業と位置付けています。「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ」は、音楽家を含む一般の方々より広く公演企画を募集し、審査を経て選ばれた方々にホールを無料で提供しています。2026年度の企画募集では、国内外から36編のご応募をいただきました。去る2025年7月19日(土)に選考検討会を開催し、識者の方々のご意見を伺ったあと、さらにホールで選考を進めた結果、3編の企画を入選いたしました。

■選考アドバイザー(五十音順)

- 大久保 賢 様(大阪音楽大学非常勤講師)
- 酒井 健治 様(作曲家・京都市立芸術大学教授)
- 杉岡 ちず子 様(MEG関西版 編集長)
- 濱 弘明 様(毎日新聞元大阪学芸部長)
- 渡邊 未帆 様(大阪音楽大学准教授)

チケットのご予約、窓口でのご購入

ザ・フェニックスホール チケットセンター  
(あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8階)

TEL 06-6363-7999

営業時間: 10:00~17:00 休業日: 土・日・祝日

\*土曜日が発売日の場合は、電話受付のみの特別営業となります。

ご予約後のお手続き

ご来店でお引き取り

10日以内にご来店ください。  
窓口では、キャッシュレス決済にご協力をお願いいたします。

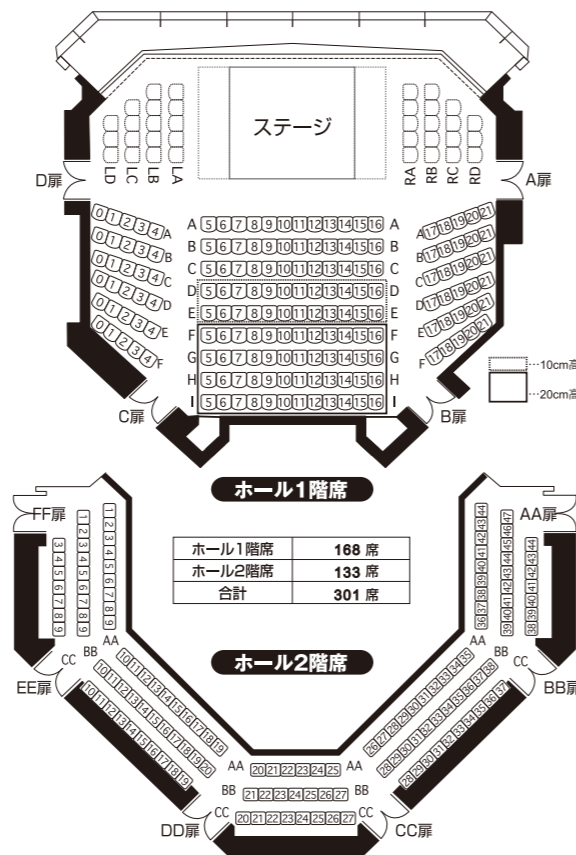
郵便局よりお振り込み

ご予約後、10日以内にお振込みください。

ご購入確認後、2週間程度で自宅へお届け。

簡易書留で発送 送料470円と振込手数料はお客様ご負担となります。

口座番号 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール



2026 フェニックス・エヴォリューション・シリーズ114  
7/29水 ブラームスの『二番』- 隠れた名曲の響き

■出演 リード希亜奈(ピアノ)、友滝真由(ヴァイオリン)、藤原秀章(チェロ)



2026 フェニックス・エヴォリューション・シリーズ115  
11/18水 山本昌史コントラバス・ソロ  
The Unplugged Presence ~無伴奏コントラバスの存在感~

■出演 山本昌史(コントラバス)



2027 フェニックス・エヴォリューション・シリーズ116  
2/6± SOM vocal ensemble #3 パウル・ヒンデミット《ミサ》

■出演 松原千振(指揮・音楽監督)、石堂藍、太田真紀、中川詩歩(ソプラノ)、  
佐々木ひろ子、田中由衣、矢守渚奈子(アルト)、田尻健、坂東達也、眞木喜規(テノール)、西角優、藤森徹(バス)

※公演タイトルは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

Pick Up



あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール  
開館30周年お祝いメッセージ



石上真由子(ヴァイオリン)

大阪でのデビューリサイタルと冠してリサイタルをさせていただいたのが15年前の夏。ホールに入った瞬間、自分の中に妙な緊張感を感じるなあと思ったら、ザ・フェニックスホールが、子どもの頃にコンクールで何度か訪れた場所であったことを思い出しました。

その後、とても幸運なことに、古典から現代まで幅広く、ホールの方肝入りのチャレンジングな企画に度々お声がけいただき、小さい頃とはまた違った緊張感をもってこのホールに足を運ぶようになりました。

ここに戻ってくる度、パッション溢れるホールの方と、あたたかく好奇心旺盛なお客様に迎え入れていただき、今では等身大で自由に心赴くまま音楽を構築していけるホームになったのだなあと感じています。

私の成長を見守ってくれたザ・フェニックスホール。次の10年も、素敵な音楽と共に、益々皆様に愛されるホールでありますように。30周年、おめでとうございます！

音楽クリティック・クラブ賞奨励賞 受賞！

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール主催公演「Fauré and more Fauré フォーレ ピアノ五重奏曲 全曲演奏会」(2024年12月7日開催)が2024年度音楽クリティック・クラブ賞 奨励賞を受賞しました。



左より水谷友彦氏(ピアノ)、特別賞受賞の井上道義氏(指揮)

**贈賞理由** かつてのソロー辺倒ではなく、室内楽をすることがどれほど西洋音楽に取り組む者にとって重要なことが浸透してきた今日、そういった環境のもとで育った若い人たちは、かつて日本の音楽家にとって難関と思われたものでも実にすんなりと飛び越えてしまう。昨年はガブリエル・フォーレの没後100年を記念する年だったが、フォーレほど、洗練された感受性や本物の詩的精神を要求される音楽はなく、かつて日本人にとって数ある音楽の中でも最難関の一つと思われていた時代があった。そのせいでもあるまいが、昨年もフォーレを記念した音楽会は必ずしも多くはなかった。だから郷古廉、小川響子、中恵菜、水野優也、水谷友彦の5人のメンバーによって催された、フォーレのピアノ五重奏曲2曲をプログラムに組んだこの演奏会には、いくら我が国の第一線の若手奏者たちだとは言え、今の若者は何と大胆なことをするという印象がなかったわけではない。しかしこの演奏会を耳にして驚いたのは、5人が、信じが

たいほどのフォーレに対する共感と高い親和性をもって、そんな否定的な印象をあっさり裏切ったことだった。5人の若者は、余計な力がすっきり抜けた柔らかく流麗な表情で、フォーレのたゆたうような独特の質感を持った音楽を何のためらいもなく生き生きと奏で、現代の我が国の第一線の若手たちが身に着けている、質が高く、柔軟な音楽性や恐るべしとの感を強く抱かせた。彼らが現在の力に満足することなく、さらなる前進や飛翔を遂げることを期待してクリティック・クラブ賞奨励賞を贈呈する。(中村孝義)



音楽クリティック・クラブ賞

関西で活動する音楽評論家・音楽ライターなどで構成された「音楽クリティック・クラブ」が毎年、前年に関西圏で開催されたクラシック音楽の公演の中から優れた個人・団体を顕彰するもので、最優秀と認められたものに「本賞」、著しい成長を示し今後の活躍が期待されるものに「奨励賞」が贈られています。

schedule  
あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛・協力公演のご案内



詳細は公演チラシかホールホームページでご確認ください。

公演により割引枚数などに制限があります。ご購入時にお問合わせください。

2025 12/5 金 呉信一&小西元司 「喜寿還暦」記念デュオリサイタル

■出演 呉信一(トロンボーン)、小西元司(ベーストロンボーン)、城綾乃(ピアノ)、Sun Bones Trombone Trio

■曲目 高橋宏樹: Double Heroes、J.ウィリアムズ:バス・トロンボーン協奏曲 ほか

19:00開演 自由席 前売 ¥4,000(友の会会員¥3,600) 当日 ¥4,500(友の会会員¥4,050) 学生前売 ¥3,000 学生当日 ¥3,500

協賛公演 主催 合同会社サンミュージックオフィス 発売中

2025 12/16 火 ロベルタ・マメリ 波多野睦美 イタリアナロックを歌う

■出演 ロベルタ・マメリ(ソプラノ)、波多野睦美(メゾソプラノ)、懸田貴嗣(パロック・チェロ)、西山まりえ(パロック・ハーブ/チェンバロ) ■曲目 ロッシ:涙よ、どこにいるのか〜オペラ「オルフェオ」より、モンテヴェルディ:ああ、最愛の人はどこに ほか

19:00開演 指定席 前売S席 ¥7,000(友の会会員¥6,300) 前売A席 ¥6,500(友の会会員¥6,000) 学生(U25) ¥3,000(限定数) 当日各 ¥500増

協賛公演 主催 ダウランド アンド カンパニイ 発売中

2026 1/4 日 トリオジャパン2026 ニューイヤーコンサート

■出演 石田泰尚(ヴァイオリン)、西谷牧人(チェロ)、佐藤卓史(ピアノ)

■曲目 モーツァルト:ピアノ三重奏曲 ホル長調 K.542、ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲 第5番 長調「幽霊」op.70-1 ほか

14:00開演 指定席 プレミアムシート ¥8,000(友の会会員¥7,200) A席 ¥6,500(友の会会員¥5,850)

協賛公演 主催 株式会社Moon 調整中

2026 1/11 日 "KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka" ~関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する藝術~ アヴォス・アンサンブルのシューマン

■出演 アヴォス・アンサンブル(ピアノ、ヴァイオリン、チェロ/イタリア) ゲスト出演:高木和弘(ヴァイオリン)、田中佑子(ヴィオラ)

■曲目 シューマン:ピアノ三重奏曲 第1番 短調 op.63、ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44 ほか

14:00開演 指定席 ¥5,000(友の会会員¥4,500) \*友の会割引は前売のみ。限定数。

協賛公演 主催 コジマ・コンサートマネジメント 発売中

2026 1/14 水 吉見友貴 ピアノ・リサイタル 2026

■出演 吉見友貴(ピアノ)

■曲目 モーツァルト:ピアノソナタ 変ロ長調 K.570 シューマン:クライスレリアーナ op.16 ほか

19:00開演 指定席 ¥4,500(友の会会員¥4,050)

協賛公演 主催 otonowa 発売中

2026 1/19 月 古武道新年会Vol.11 ~初春の狂詩曲(ラプソディー)~ 「panorama」発売記念スペシャル

■出演 古川展生(チェロ) 妹尾武(ピアノ) 藤原道山(尺八)

■曲目 ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 口短調 op.104 第1楽章 藤原道山:三巴 ほか

18:30開演 指定席 S席 ¥7,700(友の会会員¥6,930) A席 ¥5,500(友の会会員¥4,950) 高校生以下(S席・A席共通) ¥2,200

協賛公演 主催 株式会社キャピタルヴェリッジ 10/27(月)発売

2026 1/20 火 扶間美帆&滝 千春 project (MaNGROVE) Japan Tour 2026 大阪公演

■出演 扶間美帆(プロデューサー・作・編曲・ピアノ)、滝千春(ヴァイオリン、プロデューサー)、山根一仁(ヴァイオリン)、ルオシャ・ファン(ヴィオラ)、佐藤晴真(チェロ)、木村将之(コントラバス)

■曲目 プロコフィエフ:(扶間美帆編曲):バレエ組曲「ロメオとジュリエット」Special Selection for MaNGROVE ほか

19:00開演 指定席 ¥6,800(友の会会員¥6,000) \*友の会割引は前売のみ。限定数。

協賛公演 主催 エゴニア・アイボリー・合同会社 コジマ・コンサートマネジメント 発売中

2026 1/24 土 松田理奈 ヴァイオリン・リサイタル

■出演 松田理奈(ヴァイオリン) 田所光之マルセル(ピアノ)

■曲目 フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 ラヴェル:ツィガース ほか

14:00開演 指定席 前売・当日 ¥6,000(友の会会員¥5,500)

協賛公演 主催 プロマックス 発売中

2026 2/1 日 アルバム記念リリース公演 猪居亜美 CLASSIC×ROCK

■出演 猪居亜美(ギター)

■曲目 調整中

【昼公演】13:00開演 指定席 【夜公演】18:00開演 指定席 プレミアムシート ¥7,500(友の会会員¥6,750) A席 ¥6,000(友の会会員¥5,400)

協賛公演 主催 株式会社Moon 調整中

2026 2/15 日 G.A. コンサルタンツ クラシック・スペシャル 関西弦楽四重奏団 バルトーク:弦楽四重奏曲全曲&弦楽四重奏曲傑作選 第9回(全6回)

■出演 林七奈、田村安祐美(ヴァイオリン)、小峰航一(ヴィオラ)、上森祥平(チェロ)

■曲目 バルトーク:弦楽四重奏曲 第5番、スメタナ:弦楽四重奏曲 第1番 短調「わが生涯より」 ほか

14:00開演 指定席 ¥4,000(友の会会員¥3,600) 25歳以下 ¥2,000 \*友の会割引は前売のみ。限定数。

協賛公演 主催 コジマ・コンサートマネジメント 発売中

2026 2/22 日 アンサンブル カメラート 2026 ~豊潤な響きに包まれて~

■出演 泉原隆志、森岡聡(ヴァイオリン)、木下雄介(ヴィオラ)、北口大輔(チェロ)、佐藤卓史(ピアノ)

■曲目 フォーレ:ピアノ五重奏曲 第1番 短調 op.89、ショスタコーヴィチ:ピアノ五重奏曲 ト短調 op.57

14:00開演 指定席 前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500) 学生 ¥2,500

協賛公演 主催 Concerto di Primavera (27日・28日・29日) 10/24(金)発売

2025 12/6 土 CHRISTMAS CONCERT 2025 フランス印象派音楽と絵画の出会い

■出演 添田ゆみ&末岡智子、遠藤真枝&栗林萌華(ピアノ4手)、入船りさ(クラリネット)、井上晶子、中村亜紀、神崎悠実(ヴァイオリン)、天野圭子、藤本真基子、伊東くみ、星裕子(ピアノ)、近藤浩志(チェロ)

■曲目 ドビュッシー:「小組曲」、第1狂詩曲、ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 短調 ラヴェル:「スペイン狂詩曲」、ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 長調、ピアノ三重奏曲 イ短調

15:00開演 自由席 前売 ¥4,000(友の会会員¥3,500) 当日 ¥4,500(友の会会員¥4,000)

協賛公演 主催 大阪アーティスト協会 発売中

## エリック・サティとは何者か

今年が没後100年のエリック・サティ(1866~1925)だが、彼の千変万化する楽曲についてうまく語るのなかなか難しい。そこで、いわゆる代表作をいくつかあげて、それについて少しずつ見てみよう。

サティは若いころパリ音楽院に入学したがたいへん怠惰な学生で、最終的に退学し、モンマルトルの盛り場のピアニストとして生活する。そんなころの作品が《ジムノペディ》で、キャバレー(黒猫軒(シャ・ノワール))に雇われるために冗談で「自分はジムノペディストだ」と宣伝したがために、しかたなく書いた。3曲あるがすべてほとんど同じ。指示記号には「苦しく」とある。今では彼のもっとも売れている作品だが、当時の彼は「貧乏紳士」と呼ばれ、家賃も払えずに夜逃げしたりしている。

そのころ彼は神秘主義に入れ上げていて、秘密結社「薔薇十字会」に入会し、専属作曲家に指名される。教祖ペラダンの戯曲に作曲したのが《星たちの息子》で、数秘主義に則ってフレーズや音程が数学的に決められた不思議な作品。ペラダンは熱烈なワグナー主義者でサティには「ワグナー風書いてくれ」といったのだが、出来上がったのはまったく関係ないしろもの。ペラダンは音痴だったので理解できず、サティはうしろで舌を出していた。その後、ペラダンと喧嘩をして、自分自身の教会を立ち上げるが、信者は彼ひとりだけだった。その教会の名の下に、嫌いな人物に手当たり次第に「破門状」を送りつける。

キャバレーではピアニストとしてのみならず、作曲家・編曲家・指揮者などとしても働かなければならなかった。そうして作曲したのがシャンソン《あなたが欲しい》。これは「スローワルツの女王」ポーレット・ダルティが歌って、異例の大ヒットとなった。そのころサティはパリでも食い詰めて、家賃の安い郊外のアルクイユに引っ越していたが、そこでは彼はポピュラー音楽の作曲家とみられていた。しかし、本人は「くだらない汚れ仕事」だと思っていた。

ドビュッシーともそのころに知り合い、これからの新

しい音楽をどのように作るかについて多くの議論を戦わしていた。音楽形式についての議論のなかで「お前の音楽には形式がない」といわれたことへの返答として、《梨の形の三つの小品》を書く。「三つ」といいながら、実際には7曲ある。それまでの彼のスタイルの集大成。しかし、やはり作曲のテクニックの不足を実感し、ドビュッシーがとめるのも聞かず、40歳近くになって私立音楽学校スコラ・カントルムに入学する。

3年間勉強して卒業後ががんばって書いた作品が大不評で、逆に若いころの作品の人気が出てきて、わけがわからなくなる。そのころに書いたのが《干からびた胎児》をはじめとする「ユーモア作品」で、楽譜には面白おかしい指示やお話書が書かれている(「歯の痛い驚のように」など)。しかしこれを演奏中に読むと「天罰がくだる」といわれる。

ロシア・バレエ団のディアギレフと知り合って、彼のためにコクトーの台本、ピカソの舞台と衣装、マシーンの振り付けで《パレード》を作曲。タイプライターや拳銃まで使った音楽は、一大スキャンダルになる。悪評を書いた批評家にハラスメントの手紙を送りつけ名誉毀損で訴えられる。有罪判決がくだるが、周囲の努力で刑に服さずにすんだ。

唯一のまじめなオペラ《ソクラテス》はプラトンの対話編を素材とする。しかしこれも単なる冗談と思われ、初演時には笑われたという。このような彼の意図と相反する聴衆の反応は、《家具の音楽》でもあって、これは現代のBGMの祖先となる「環境音楽」なのだが、人々はいつ聴き入ってしまい、サティはステッキを振り回しながら「聴くな!」と叫んだという。

以上、もっと詳しく「エリック・サティとは何者か」を知りたい人には参考として拙著をご紹介します。椎名亮輔『梨の形をした30の言葉』(アルテスパブリッシング)。さらに今秋から早稲田大学エクステンション講座でサティについて話すことになっている。また新たに伝記も執筆中。



椎名亮輔(しいな・りょうすけ) 同志社女子大学教授

東京大学大学院博士課程満期退学。ニース大学哲学科博士課程修了。東京大学助手、パリ第3大学講師、リール第3大学講師をへて、現在は同志社女子大学教授。著書に『音楽的時間の変容』(現代思潮新社)、『狂気の西洋音楽史』(岩波書店)、『デオダ・ド・セヴラック—南仏の風、郷愁の音画』(アルテス・パブリッシング、第21回吉田秀和賞受賞)、『フェデリコ・モンポウ 静寂の調べを求めて』(音楽之友社)などがある。



発行年月 2025年10月  
 発行 あいおいニッセイ同和損保  
 ザ・フェニックスホール  
 編集 谷昌則  
 デザイン 松井桂三有限公司

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。